

医療局 令和6年度当初予算（案）のポイント

照会先	経営管理課
	企画予算担当課長
	019 - 629 - 6306

岩手県立病院等の経営計画〔2019-2024〕

- 持続可能な経営基盤の確立を図りながら、県民に良質な医療を持続的に提供していきます。**
- ◆ 県立病院間のネットワークを活用した円滑な医療提供体制の構築や、他の医療機関及び介護施設等との役割分担と連携を一層進めます
  - ◆ 医師・看護師等の育成・確保を進めるとともに、働きやすい職場環境を整備し、良質な医療を持続的に提供します
  - ◆ 経営を取り巻く環境の変化に迅速に対応し、持続可能な経営基盤の確立を目指します

○ 令和6年度の事業運営方針

「岩手県立病院等の経営計画〔2019-2024〕」に掲げる5つの基本方向ごとの重点取組事項を着実に実行していくとともに、経営改善に向けて全職員一丸となって取組を進めます。

- 1 県立病院間・他の医療機関及び介護施設等を含めた役割分担と地域連携の推進
  - ・ 岩手県保健医療計画（2024-2029）を踏まえた次期経営計画の策定
  - ・ 圏域内への効率的な職員の配置、支援体制の構築等による一体的な運営
  - ・ 岩手県地域医療構想、医療政策の動向や地域医療ニーズを踏まえた病床の機能、病床数・病棟数の見直し
  - ・ 地域における役割分担と医療・介護・福祉等関係機関との連携強化
- 2 良質な医療を提供できる環境の整備
  - ・ 新型コロナウイルス感染症の通常対応への完全移行に伴う通常診療の充実
  - ・ 医療安全対策の推進・強化
  - ・ 病院の施設・設備の計画的な整備の推進
  - ・ 質が高く効率的な医療の提供に向けた医療現場のデジタル化の推進
- 3 医師不足解消に向けた医師の育成・確保と医師の負担軽減に向けた取組の推進
  - ・ 医師の時間外労働規制（R6.4～）への円滑な対応
  - ・ 臨床研修医及び専攻医の確保に向けた取組の推進
  - ・ 奨学金養成医師の効果的な配置
- 4 職員の資質向上と患者数等の動向や新規・上位施設基準の算定を踏まえた人員の適正配置
  - ・ 看護職員や医療技術職員等の安定的な確保、各職域の専門資格職員の計画的な養成
  - ・ ワークライフバランスの充実やハラスメント防止対策など働きやすい職場環境の整備
  - ・ デジタル技術の活用等による業務の見直しと職員の意識改革の推進
- 5 持続可能な経営基盤の確立
  - ・ 各病院の経営目標及び収支計画の設定、定期的な検証
  - ・ 入院患者の積極的な受入による患者数の確保やクリニカルパスの活用を徹底した効率的・効果的な医療の提供
  - ・ 令和6年度診療報酬改定に伴う新規・上位施設基準の早期取得の推進

○ 令和6年度県立病院等事業会計予算の概要

1 予算の内訳

(1) 収益的収支

(単位:千円)

区分	令和6年度 当初予算	令和5年度 当初予算	比較
収益	119,911,658	118,733,775	1,177,883
費用	121,735,532	118,940,972	2,794,560
差引損益	△1,823,874	△207,197	△1,616,677
経常損益	△1,823,874	192,106	△2,015,980

(2) 資本的収支

(単位:千円)

区 分	令和6年度 当初予算	令和5年度 当初予算	比 較
収 入	14,758,929	14,007,075	751,854
支 出	20,634,188	21,172,166	△537,978
(1)建設改良費	8,461,655	7,801,109	660,546
(2)企業債償還金	11,654,133	12,865,857	△1,211,724
(3)他会計からの長期借入金償還金	0	0	0
(4)投資	518,400	505,200	13,200
差 引(内部留保資金充当)	5,875,259	7,165,091	△1,289,832

2 収益的収支予算の主なもの

(1) 医業収益

新型コロナウイルス感染症の通常への完全移行に伴い、通常診療を充実させることに加え、地域の医療機関等と連携した入院患者の積極的な受入等により患者数の増加を見込むとともに、令和6年度の診療報酬改定を踏まえた上位・新規施設基準の取得に取り組むことにより、入院・外来収益の増加を見込んでいます。

- ア 入院収益                   65,342 百万円 (前年度比 2,007 百万円)
- 入院患者数           1,120 千人 (前年度比 △25 千人)
- イ 外来収益                30,633 百万円 (前年度比 1,148 百万円)
- 外来患者数           1,677 千人 (前年度比 △17 千人)

(2) 医業費用

給与改定等に伴う給与費の増加を見込んだほか、燃料価格の高騰や最低賃金の引上げ改定等の影響による経費の増加を見込んでいます。

- ア 給与費           61,815 百万円 (前年度比 1,128 百万円)
- イ 経費            19,132 百万円 (前年度比 1,422 百万円)

3 資本的収支予算の主なもの

(1) 建設改良費

配管設備等の老朽化、災害医療体制の充実及び脱炭素化に対応するための工事費や高度医療の充実を図るための医療器械の購入費等を計上しています。

- ア 宮古病院附帯設備改修工事                   945 百万円
- イ 久慈病院浸水対策工事                       62 百万円
- ウ 照明器具改修工事                           362 百万円
- エ 手術用ロボット手術ユニット等医療器械購入費 3,746 百万円

(2) 投資

計画的な医師養成を目的とする医療局医師奨学資金貸付金として、518 百万円を計上しています。